



審査会合の状況を説明する  
岩淵伸一 支店長  
H15日 青森市

東北電力青森支店の岩淵伸一 支店長は18日の定例会見で、東通原発（東通村）再稼働の前提となる新規制基準への適合性審査で、海洋プレートの適合性審査で、海洋プレート内地震の審査がおおむね終わったこと触れ、「さらに前進した」と述べ、議論の進展を強調した。

原子力規制委員会は14日の審査会合で、海洋プレート内地震に関する東北電の説明に対し、おおむね妥当と評価。耐震設計の目安となる揺れ（巨大地震）の策定に向け、震源を特定して影響を調べる三つのタイプの地震のうち、二つの審査が終了した。

### 東通原発審査「さらに前進した」

東北電力東通原発1号機（東通村）の再稼働に向けた安全対策工事の完了時期が3年延期されたことを受け、村議会は30日、全員協議会を開いた。協議会は非公開で行われ、出席した畑中稔朗村長によると、同原発の青木宏昭所長が延期の理由などを説明した。村議からは住民への丁寧な説明を求める意見があったという。

### 東通原発の完工3年延期を説明

東北電力東通原発1号機（東通村）の再稼働に向けた安全対策工事の完了時期が3年延期されたことを受け、村議会は30日、全員協議会を開いた。協議会は非公開で行われ、出席した畑中稔朗村長によると、同原発の青木宏昭所長が延期の理由などを説明した。村議からは住民への丁寧な説明を求める意見があったという。

## 原子力施設 審査停滞

原子力規制委員会による県内原子力関連施設の審査が停滞している。新規制基準の適合性審査に合格した日本原燃の再処理工場（六ヶ所村）とリサイクル燃料貯蔵（RFS、むつ市）の中間貯蔵施設は、安全対策工事を進めるための設計認可（設計認可）の審査が難航。再処理施設は機器の健全性を評価する検査方針も並行審査することになり、2022年度上期に先延ばしした完成時期も危ぶまれる。一方、東北電力の東通原発（東通村）と電源開発（Jパワー）の大間原発（大間町）は適合審査の入り口段階で、合格時期すら見通せない状況。両原発とも工期を見直すなど審査長期化の影響が出ている。（石黒圭）

## 危ぶまれる完成時期

「再処理施設」昨年8月の審査合格から8カ月経過したが、設計認可審査を効率的に進めるための、数万台に上る設備・機器の類型化で立ち往生。4月13日の審査会合でも類型化をめぐって指摘が相次ぎ、原子力規制庁の市村知也原子力規制部長は「指摘事項がなかったかのような説明、マイナス（後戻り）になっていないか」と厳しい言葉を投げ掛けた。

## 格上げも 工期の見直しも

さらに操業の前提となる使用前事業者検査が持ち上がる。規制委の東田豊志委員長は同日の定例会合で「（核燃料物質を使った）アクティブ試験の影響で近づけないものをどう確認するか。設計認可審査が検査を意味したものでなければ

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力は30日、3月16日に東通原発1号機（東通村）の中央制御室にあるプロセス計算機のサーバーから異常を示す警報が発生したと発表した。原因は調査中という。同原発広報課によると、プラントの運転状態の監視などを行う計算機の三つあるサーバーのうち、一つのサーバーで警報が発生。稼働を別のサーバーに切り替えたため、影響は出なかったという。警報が発生したサーバーも現在は復旧している。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。

## 東通原発完工3年延期

東北電力が東通原発（東通村）の安全対策工事の完了時期を、2021年度から24年度に3年延期した。再稼働時期は明示せず、工事完了後準備が整いつつある新規制基準の適合性審査が長期化しているのが要因。延期幅は過去最長となったが、審査の課題は多く、完工へのハードルは依然として高い。